

40 周年記念事業の概要

1. 趣旨

令和4年4月、城山町が誕生して40年目を迎えました。少子高齢化が進展し、人口減少が顕著となる中、これからの城山町はどうなるのか、どうしたら魅力ある町にできるのか、住民の多くの方が心配しています。

40周年を契機に、これからの城山町の地域づくりや魅力づくりをどうすべきか、地域住民自らがその考えを示し実施する必要があると考えます。そのため、城山町の現状と課題を把握して、地域づくりや魅力づくりの実現に寄与する事業を立案して実施することを40周年記念事業の趣旨としました。

2. 活動経過

(1) 令和2年度の活動

令和2年10月、第1回40周年記念事業実行委員会を開催し、記念事業実施の是非などを議論しました。予算確保の面で懸念があるが、①将来を見据えた町づくりの課題を解決する取り組み、②町を元気にする取り組み、③記念誌の発行、④その他の事業を、令和3年度及び令和4年度に実施することを確認しました。なお、記念誌は、確保できた予算に応じたものを作成することを確認しました。

(2) 令和3年度の活動

①事業実施計画案及び事業予算案の作成

40周年記念事業実施計画書案を作成しましたが、高崎市活き活き地域づくり推進事業の補助金交付が令和4年度になることが判明したため、令和3年度は、支出を伴わない事業として「ワークショップ事業」と「環境整備事業（高崎市へ実施を依頼する事業）」に取り組みました。ワークショップ事業として、県営住宅の住環境改善のため「県営住宅の住民の声」アンケート調査をもとに、県の住宅政策課との意見交換会を3月と6月に行いました。また、10月には城山の女性たちを中心に「城山の魅力を語るワークショップ」を開催しました。さらに、町を元気にするイベント事業にも取り組みました。11月には「情熱のオペラ」、翌年3月には「心に響く音楽会」を開催しました。

住環境整備事業として、高崎市に「城山町の環境整備について（要望書）」及び「市道城山団地線の法面の安全対策について（要望書）」を提出しました。

②各部会での令和4年度事業開始に向けた準備

ア) 令和4年度活き活き地域づくり推進事業の補助金申請（補助事業部会）

高崎市と協議を進めた結果、城山町は過去10年ごとに記念誌を発行していたため、記念誌の発行は新規の事業と認定されず、補助対象事業から除外せざるを得ませんでした。したがって、記念誌は自前の財源で発行することになりました。また、看板作製については、看板の設置場所、サイズ、デザイン等の規制が厳しく、繰り返し高崎市の複数の担当課と協議し、何とか認可が得られることになりました。この他、ホームページの作成でも高崎市から指摘事項が出されるなど、補助金申請には多大な苦労がありましたが、令和4年2月により申請できました。

イ) 記念誌発行の準備（記念誌部会）

記念誌の内容を検討し、掲載する項目を決めて、経費の仮算定を行いました。城山地区に関係する事業者等に広告の掲載を依頼し、城山地区の個人及び各種団体に原稿及び協賛金の協力を依頼しました。

(3) 令和4年度の活動

令和4年4月、高崎市より活き活き地域づくり推進事業の補助金40万円の交付決定通知書が届き